

成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進

平成23年度予算額
87百万円（新規）

背景

- 産業構造・社会構造の変化等が進む中で、我が国経済社会の一層の発展を期すためには、成長分野等への人材シフトを円滑に進めるとともに、その専門技術を高めしていくことが不可欠
⇒ **産学の連携により、専門人材養成を戦略的に推進するための新たな枠組みの整備が必要**

◆ **新成長戦略（平成22年6月閣議決定）** ◆
 ・「キャリアアワード」の導入・普及（「日本版NVQ」の創設）
 ・「実践キャリア・アップ戦略」における大学・専門学校等の教育システムとの連携
 ・専修学校への単位制・通信制の導入
 → 専修学校での社会人受け入れ総数：15万人

各成長分野における取組を先導する産学コンソーシアムを組織化し中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備

- ◆ 成長分野の人材需要等に応じ、教育機関に求められる課題と対応策を検証
- ◆ 実践的な職業能力を育成する効果的な学習体系の構築に向け、調査研究を推進
※ 能力段階別に知識・技術の積み上げを行うための学習ロードマップを作成
- ◆ 産学間の情報交流の場を整備

産学コンソーシアム



- 産業界のニーズを踏まえた人材養成策の策定
- 各分野における教育の質保証の仕組みづくり
- 社会人等が学びやすい学習システムの導入促進
～「学習ユニット積上げ方式」によるアクセスしやすい学習機会の整備に向けた基盤構築

業界団体・企業等

その他関係機関



推進する分野例
 環境・エネルギー
 食・農林水産
 医療・健康
 介護・保育等
 クリエイティブ
 (デザイン、アソシエーション)
 観光
 IT
 など

成長分野等の中核を担う専門人材の養成の活性化、職業教育の質の向上、多様な学習機会の充実